

EVA

Yerbabuena

世界を虜にする美しき女神 ミューズ

魔性のフラメンコ

エバ・ジェルバブエナ

ソロ・フラメンコ



- [舞踊] エバ・ジェルバブエナ Eva Yerbabuena
- [音楽監督、ギター] パコ・ハラーナ Paco Jarana
- [カンテ(歌)] ジョナタン・レジェス Jonatan Reyes
アルフレド・テハーダ Alfredo Tejada
- [パーカッション] アントニオ・コロネル Antonio Coronel
- [ヴァイオリン] ウラジミール・デミトリエンコ Vladimir Dmitrienco

※当初発表より一部出演者が変更となっております。

©Rubén Martín

2017 **9/20** (水) ※上演時間約80分(休憩なし)
7:00PM開演(6:15PM開場)

A 10,000円 B 8,000円 C 6,000円 D 4,000円 E 3,000円(全席指定/税込)

兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスク JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

発売中

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス **0798-68-0255** 10:00AM-5:00PM 月曜休み
※祝日の場合翌日

<http://www.gcenter-hyogo.jp>

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 後援：スペイン大使館、セルバンテス文化センター東京、日本フラメンコ協会

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。天候や不可得な事情により、出演者、演目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



EVA Yerbabuena

エバ・ジェルバブエナ。言わずと知れた現代フラメンコの女王。彼女がフラメンコ舞踊にもたらした可能性を、一体どうやって図れば良いだろう。いや、決して図れやしない。なぜなら、それはこれからも未来永劫に続いていく輝きだから。

彼女の最大の功績は、フラメンコ舞踊に、己の人生感を託すという「コンセプト」をもたらしたことだった。

このアートフォームでそれまで表現されてきたことと言えば、喜び、悲しみと言った人々の感情。こんなことがあった、それに対してこう感じたという、誰もが日々感じる共通の情感だった。

しかし彼女は、例えば子供の頃の思い出が、懐かしいと同時に、今でも心の奥に突き刺さる痛みを呼び起こすといった、ごく個人的な、表現することが甚だ困難なことを、作品に託した。そしてそれを演じることで、自分の中のカタルシスを昇華させた。

もちろん、その世界は複雑であり、少なくとも、フラメンコの世界では、誰もそんな風に踊ろうなんて思いもしなかった。しかし、観客は反応した。意味はよく分からない。明確には見えない。でもなぜか共感する。そこからにじみ出てくる魂の叫びに。

そうしてグラナダ出身らしい、伝統的なスタイルの若手ホープだったエバは、ピナ・バウシュなどのコンテンポラリーダンスを彷彿とさせる動き、そして大胆に他ジャンルの音楽を取り入れた前衛的な作風に転身した。そして後に、この「コンセプト重視」の自由なスタイルをフラメンコの主流にしてしまった。

まさに、彼女なくして現代のフラメンコは語れない。47歳のこのマエストラは、他人が簡単には出来ないことを、人生の前半ですでにやってしまった。しかし、彼女はまだまだ終わってはいない。その創造の泉は、枯れることを知らず湧き続ける。

今回の来日では、そんな彼女の今を、存分に堪能してほしい。

次女が生まれた時に最初に発した言葉「アイ」を、そのままタイトルに置いたという作品『アイ』(2013)では、夫パコ・ハラナのギターと共に、独り舞で心の深淵を探る。娘が生まれて初めて発した言葉。それは喜びに満ちていた。そしてこの作品から、彼女は新しい魂に生まれ変わった。その情景は孤独でありながらも、それまでの作品の底辺に常に漂っていた「痛み」や「悲しみ」は感じられない。そこにあるのはもっと強い感情だ。それを日本語で言えば、まさしく「愛(アイ)」であるのは、言いえて妙だ。

モダンな動きの場面もあるが、よりフラメンコな作風で、エバの今のフラメンコをよりじっくり味わいたいファンには、この上ない公演となるだろう。

「月刊パセオフラメンコ 2017年5月号より一部抜粋」

執筆：東敬子(フラメンコ・ジャーナリスト)



© Michel PETIT



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中!

詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

